



今回は「Japan Knowledge (ジャパナレッジ)」の基本的な検索機能についてご紹介いたしましたが、今回は付随する特有のコンテンツについて紹介したいと思います。

前回紹介した事項検索は「One Look」と呼ばれるコンテンツですが「ジャパナレッジ」にはその他に「A-Search」、「記事・コラム」、「カルチャー」、「ライブラリ」、「メンバーズ倶楽部」というコンテンツがあります。まず「A-Search」には「One Look」よりさらに詳しく検索できる「詳細検索」や「分野別検索」があります。また「日本大百科全書：自然文質問応答システム」では「日本の図書館について知りたい」といった質問文形式から自分の知りたい事項が検索できるシステムで、今

までの検索方法とはひと味違った情報検索ができます。「記事・コラム」では各著名人のコラムが用意され、また「JK Who's Who」という人物データベースも用意されています。「カルチャー」には「東洋文庫」の書籍そのままをPDF形式で読む事ができるコンテンツなどが用意されています。「ライブラリ」にはWebのマルチメディア機能を活かした音楽、映像、アニメーションなどで表現されたコンテンツが用意されており視覚的に情報を得る事ができ、また楽しむことができます。他にも「ジャパナレッジ」の使い方を紹介した「チュートリアル」が収録されている「メンバーズ倶楽部」など多種多様なコンテンツが「ジャパナレッジ」には用意されています。アクセスされた時には是非これら「ジャパナレッジ」ならではのコンテンツも活用し、楽しんでみてください。

(機械化推進委員会委員長 宮杉 浩)

## 図書館の こんなこと知らなかった ⑤

英米語学科4年次生 内田 秀作

僕は今年の6月から図書館で本を登録するバイトを始めました。正直今まではあまり図書館を利用したことは無く、有ったとしても閲覧室でレポートをしたり、ちょっとした調べ物をする程度でした。今では必ず毎週数回は図書館に入って作業しているのですが、2ヶ月経った今でも外大の図書館には驚かされます。中でも一番驚いたのが“貴重書”の存在です。普段、図書館を利用しているだけではあまり知る機会はないと思うのですが、書庫に行く途中に“貴重書室”という部屋があります。そこには貴重な本や資料がたくさん保管されているのですが、先日行われたオープンキャンパスの催しでその一部が展示されました。これが凄いい!! 中学や高校で社会の本に載っていた『解体新書』や『種の起源』等をはじめとする、日本だけではなく世界の歴史を大きく変えた本がそのまま目の前に有るのです。ちょっとした博物館ですよ。他にも海外からの視点で日本を書いた書物等、非常に勉強になる資料も有るそうなので図書館の展示は要チェックです。

それと結構面白いのが書庫ですね。時間が有るとふらっと立ち寄るのですが、図書館って学術書や研究書のような堅苦しいジャンルの本ばかり置いてあるわけではないのです。例えば個人的な体験談になるのですが、ちょっと前に見つけた『大人のマナー』と『プレゼンテーションの方法』。ちょうど就職活動中だったので参考にさせてもらい、すごく役に立ちました! ちょっと興味は有るのだけど、わざわざ買おうとは思わないようなジャンルの本をたくさん見つけることが出来て活用しています。手続きが必要ですが、実際書庫に入っている立ち読みされる事をお勧めします。本当は外大の図書館に関して自慢したい点はまだまだたくさん有るのですが、多すぎてまとめきれませんでした。皆さんが何気なく使用している図書館、実は本当に凄いいんです!!